

教科(科目)	農業(総合実習)	単位数	2 単位	学年(学科)	2 年(環境緑地・緑地工学コース)
使用教科書	なし			授業形態	必修
副教材	なし				

1 科目目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な判断力や行動力、技術、管理能力を養い、課題解決のための実践的な態度を習得する。

2 学習計画 ※1単位は時間外総合実習とし、長期休業中(春、夏)に実施。

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	森林・林産に関する総合実習	田上演習林の森林の保育	70	
5		1. 刃物の研磨		
6		2. 枝打ちの方法		
7		3. 間伐、除伐の方法		
9		4. 下草刈りの方法		
10		5. 演習林の整備作業		
11		6. チェーンソーの取り扱い		
11		7. 刈り払い機の取り扱い		
1		8. 校内植物園の管理作業、冬囲い		
2		9. 木材加工(木工機器の取り扱い)		
3		上記の内容を天候と演習林の状況に合わせて行う。 長期休業中にも実習を行う。		

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心 意欲 態度	積極的に授業に参加し、主体的に学ぼうとする意志が現われているか、総合的に評価します。	実習態度、技術 出席状況、レポート等 上記を総合して100点 満点で評価する。
思考 判断	自分のやるべき内容を理解し、行動できるかを総合的に評価します。	
技能 表現	レポート提出を通し、自分の意見が的確に表現できるかを評価します。	
知識 理解	レポート提出を通して理解できているかを総合的に評価します。	

教科(科目)	農業(総合実習)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	2 年生(環境緑地・緑地工学)	
使用教科書					授業形態	必修
副教材						

1 科目目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して総合的な判断力や行動力、管理能力を養い、課題解決のための実践的な態度を習得する。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	森林・林産に関する総合実習	田上演習林の材木の保育	70	
5		1、 刃物の研磨		
6		2、 枝打ちの方法		
7		3、 間伐の方法		
		4、 下刈り		
9		5、 演習林の整備作業		
10		6、 チェーンソウの取り扱い		
11		7、 刈り払い機の取り扱い		
12		8、 校内植物園の冬囲い		
		9、 林産加工 (木工製品の取り扱いについて)		
1				
2		上記の内容を天候と演習林の状況に合わせて組み合わせて行う。		
3		長期休業中にも実習を行う。		

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	積極的に授業に参加し、主体的に学ぼうとする意志が現れているか、総合的に評価します。	実習態度 出席状況・ レポート等 上記を総合して100 点満点で評価する
思考判断	自分のやるべきことを理解し行動できるかを総合的に評価します。	
技能表現	レポート提出を通し、自分の意見が的確に表現できるかを評価します。	
知識理解	授業中の小テストを通して理解できているかを総合的に評価します。	

教科(科目)	農業 (総合実習)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	2年食品技術科 食品製造コース
使用教科書	なし			授業形態	選択
副教材	なし				

1 科目目標

食品製造に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、理解を深めさせるとともに実践的な能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	第6章農産物の加工 5 果実類の加工 第3章食品の貯蔵 2 食品の貯蔵法 ★加工品生産実習	*年間を通して、その季節にあった果実を用いた製造実習を行い、製造原理や製造方法を理解させる。また、食品としての価値をできるだけ維持するための貯蔵方法を習得させる。機械や道具などの用語、使い方等も覚え、理解させる。 ★主な加工品(イチゴジャム、マーマレード等) ※実習内容・項目は2年食品製造に準じて行う。	22 8	実習態度・意欲、出席状況で評価。
9 10 11 12	(1学期の続き) 第6章農産物の加工 1 穀類の加工 ③小麦 ★加工品生産実習	(1学期の続き) *小麦粉を使用した加工品製造実習を行い、基本的な製造原理や製造方法を理解させ、技術を習得させる。 ★主な加工品(洋菓子、モモジャム、リンゴジャム、ブドウジャム、梅干、ルレクチェジャム、等) ※実習内容・項目は2年食品製造に準じて行う。	28 4 2	実習態度・意欲、出席状況で評価。
1 2 3	(2学期の続き) 第7章畜産物の加工 1 肉類の加工 ★加工品生産実習	(2学期の続き) *ソーセージ製造を実施する。 ★主な加工品(ソーセージ、等) ※実習内容・項目は2年食品製造に準じて行う。	2 4	実習態度・意欲、出席状況で評価。

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	食品加工の原理や役割など食品製造に関心を持ち、食品製造や貯蔵に意欲的に取り組むとともに、品質と生産性の向上を図ろうとする態度を身に付けているか。	各学期の実習態度・意欲、出席状況、等。 上記を総合して、100点満点で評価する。
思考判断	原材料の加工適性或食品特産に応じた食品加工の方法を考察し、機械の利用や品質管理を科学的に判断するとともに、品質と生産性の向上を図る能力を身に付けているか。	
技能表現	食品の製造と貯蔵に関する総合的な技術を身に付け、食品の製造工程を適切に実施するとともに、食品の製造や貯蔵の状況を的確に表現できるか。	
知識理解	食品の製造と貯蔵に関する基本的な知識を身に付け、原材料の加工適性、食品特産と加工原理を理解しているか。	

教科(科目)	農業 総合実習	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	2年生物工学科バイオテック
使用教科書	なし			授業形態	必修
副教材	なし				

1 科目目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
4	育種技術の基礎 露地野菜の栽培	・野菜の栽培方法、育種方法及び栽培に必要な知識や技術を習得させるなかで、栽培における問題点を体験させる。	7	ノートや観察レポートの記入具合、授業への参加態度等を総合的に見て判断する。	
5	花粉および花粉管の観察	・被子植物の花粉および花粉管を光学顕微鏡で経時的に観察でき、育種に応用できる能力と態度を養う。	14		
6	人工交配 新植物の作出	・身近な植物・作物を用いて異なる品種間の人工交配ができるようになる。	7		
7		・どのような作物が作出可能か。考察できる能力を養う。	7		
9	植物バイオテクノロジー技術の				ノートや観察レポートの記入具合、授業への参加態度等を総合的に見て判断する。
10	農業分野での利用	・野菜や草花を用いた胚培養や薬培養ができるようになる。	14		
11	胚・薬培養 茎頂培養	・各種野菜や草花の茎頂培養ができるようになる。	14		
12	培養植物のほ場栽培	・培養した植物を順化後、ほ場にて栽培し、培養植物の有効性や活用方法を理解させる。		個々の設定した研究テーマに則し、的確に計画を立てられているか。	
1	学校農業クラブ活動(プロジェクト活動)	・次年度における「課題研究」のテーマに沿って計画を立て、自らの課題を自主的・主体的に解決できる態度を身に付けさせる。	7		
2					
3					

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	植物バイオテクノロジーの知識を生かして実験や実習に積極的に取り組むことができたか。	実験・実習に取り組む姿勢が積極的かどうかを見る。 座学で学んだ知識を的確に実験・実習に活用することができたかどうかを見る。 ノートや実験・実習レポートの作成状況を見る。
思考判断	学習した内容に基づいて的確に実験・実習を進めることができたか。	
技能表現	実験や実習の観察経過や結果を工夫してまとめることができたか。	
知識理解	植物バイオテクノロジーの知識を的確に実験や生産現場での実習に生かすことができたか。	

教科(科目)	農業(総実)	単位数	3 単位	学年(学科・コース)	2年 生産技術科 作物
使用教科書	作物(農文教)			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

作物(イネ・雑穀)の栽培分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めるとともに、栽培技術(管理)などの実践的な能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	栽培計画の作成と栽培実施	・種子予措	2	授業態度
5		・播種、育苗、管理技術	4	
6		・本田の準備(施肥、耕起、代掻き)	4	実習態度
		・雑穀畑の準備	6	
		・田植え 直播き 移植	2	
7		・田植え後の水管理	6	レポート提出
7		・本田・畑での生育調査	2	
7	・雑草の種類と除草体系	2		
7	・イネ、雑穀の体質診断と追肥、穂肥	2		
8	収穫時期の判定と収穫作業、収量調査	・防除と防除の必要性	8	授業態度
9		・コンバイン操作、乾燥、調製調整	8	
10		・収量構成要素調査 雑穀の収穫と調製加工	10	実習態度
11		調査株の採取	4	
12		・収量診断	4	
1	稲作栽培の方法	有機栽培	4	授業態度
2		直播栽培	4	
3		出芽苗移植栽培	2	実習態度
		不耕起栽培 雑穀の利用用途	2	
3			レポート提出	

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心 意欲 態度	作物栽培に関する諸問題について関心を持ちその改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに創造的、実践的な態度を身に付けている。	授業態度 実習態度 レポート提出
思考 判断	自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し創意工夫する能力を身に付けている。	
技能 表現	基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の作業を合理的に計画し適切に処理して、その成果を的確に表現する。	上記を総合して100 点満点で評価する。
知識 理解	生産物の利用などに関する基本的な知識を身に付け、作物の特性と生育環境の関係や育成の過程を理解している。	

教科(科目)	農業 (総合実習)	単位数	2単位	学年(学科・コース)	生産技術科2年生野菜コース
使用教科書	野菜 実教			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

野菜の分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を修得させ、経営と管理についての理解を深めるとともに、管理能力や企画などの実践的な能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	キュウリ、メロン、トマト、ナス、スイカ、スイートコーン、エダマメ等、春から夏にかけて栽培する野菜の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耕耘、畦つくりの実践。 ・ マルチ、トンネルの特性を知りその実践。 ・ かん水の方法理解と実践。 ・ 肥料についての知識、施肥技術の習得。 ・ 収穫方法と調整について理解とその実践。 ・ は種方法とその実践。 ・ 野菜の種類による整枝方法とその実践。 ・ ホルモン処理の方法とその実践。 ・ 訪花昆虫の利用。 ・ 病害虫防除の理解と技術の実践。 	30	栽培実習・観察における態度、レポートを評価する。 授業への出席状況、態度や意欲について評価する。出席、授業・実習態度・レポート等により評価する。
8 9 10 11 12	春から夏にかけて栽培する野菜の管理 ダイコン、ハクサイ、ニンジンなど 夏から秋にかけて栽培する野菜の管理	同上	34	同上
1 2 3	オータムポエム、シュンギクなど 冬に栽培する野菜の管理 次年度栽培予定作物の育苗	<ul style="list-style-type: none"> ・ かん水の方法理解と実践。 ・ 肥料についての知識、施肥技術の習得。 ・ 収穫方法と調整について理解とその実践。 ・ 野菜の種類によるそれぞれの整枝方法とその実践。 ・ 病害虫防除の理解と技術の実践。 ・ 育苗技術の習得。 ・ 接ぎ木技術の習得。 	6	同上

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	作物栽培について興味・関心を持って学習できているか。	授業態度、レポート等 上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	観察結果などから栽培方法を的確に判断できているか。	
技能表現	栽培実習において正しい技術が身についているか。	
知識理解	作物栽培とそれを取り巻く栽培環境について知識や理解が深められているか。	

教科(科目)	農業(総合実習)	単位数	1 単位	学年(学科)	2年(環境緑地科)
使用教科書	なし			授業形態	必修
副教材	なし				

1 科目目標

<p>①専門分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させる。</p> <p>②測量実習を通して総合的な技術、技能を習得させる。</p> <p>③土木製図の基礎的・基本的な技術、技能を習得させる。</p>
--

2 学習計画 ※1単位は時間外総合実習とし、長期休業中(春、夏)に実施。

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	・管理実習 (春季休業中)	・演習林の管理実習(倒木撤去等含む) ・校内植物園の管理実習(冬囲い撤去含む) ・管理実習を通して専門分野の総合的な技術、技能を習得させる。	6	・実習への参加の仕方(意欲)や態度。 ・活動に適した服装や事前準備。
5 6 7			1 2	
8	・管理実習 (夏季休業中)	・演習林の管理実習(下草刈り等整備) ・校内植物園の管理実習(除草、刈り込み、選定) ・管理実習を通して専門分野の総合的な技術、技能を習得させる。	1 7	・用具の取扱いや技術。 ・出席状況。(欠席、遅刻の有無等)
9	・測量実習 (夏季休業中)	・加茂山水準、角測量実習を通して、測量に関する体験的な学習を行い総合的な技術、技能を習得させる。 ・外業で得られたデータから図面作成(内業)。 ・土木製図の基礎的・基本的な技術、技能を習得させる。		・的確な測量データの処理。 ・測量結果と図面作成。 ・実習内容等のレポート記入、提出。
10				
11				
12				
1 2 3				

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心 意欲 態度	・時期的な管理作業を通じ、積極的に学ぼうとする意欲、態度が見られるか。 ・管理作業や測量に興味、関心を持って意欲的に実習に取り組んでいるか。	※服装、出席、提出物、授業態度等から各学期の成績を総合し、1年間の学習成績を100点満点で評価。
思考 判断	・実習目的を正しく理解しているか。 ・実習目的に対して、正しく対応し、実習できているか。 ・実習内容を応用した作業ができるか。	
技能 表現	・日々の参加状況と作業技術。 ・測量結果から製図が完成できたか。	
知識 理解	・管理作業に関する総合的な知識と技術を理解したか。 ・測量実習に関する総合的な知識と技術を理解したか。	

教科(科目)	農業(総合実習)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	2年生 生産技術科 草花	
使用教科書					授業形態	選択
副教材						

1 科目目標

草花に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力などの実践的な能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	花壇と緑化について 草花の繁殖方法について 土の種類と性質について	<ul style="list-style-type: none"> 花壇整備と苗の定植をおこない、花壇デザインの技法やかん水、施肥などを体験させる。 さし芽、株分け、取り木の方法を体験させるとともに、その後の栽培管理を学習させる。 種子の顕微鏡観察、成長した植物体の観察をおこなう。 草花栽培における土壌の性質について理解させる。 	6 14 10	出席状況、実習の取り組み、作業の正確さ、実習レポート内容等を総合して評価する。
9 10 11 12	鉢ものの栽培 観葉植物の栽培管理 施設の種類・構造について 播種について	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな鉢ものの栽培を通して、鉢の種類や鉢土の特徴、かん水、施肥などを体験させる。 観葉植物に共通する性質と管理方法について理解させる。 二重カーテンや暖房装置など施設環境の構造と実際を体験させる。 ペゴニア、サルビアなどの種まきを体験させ、種子の特徴や播種の方法について理解させる。 	10 10 8 6	同上
1 2 3	花壇苗の準備 フラワーアレンジメント	<ul style="list-style-type: none"> 春花壇用苗の鉢上げを通して、鉢上げの技術と苗の特徴を理解させる。 簡単なアレンジメントやコサージュの作成をおこない、草花の利用と装飾方法を身につけさせる。 	12 6	同上

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲 ・態度	身近な草花に関心を持ち、意欲的に取り組むことができるか。 班員と協力して実習に取り組むことができるか。	出席状況 実習態度・作業内容 レポート提出 上記を総合して100点満点で評価する
思考 判断	草花の特性と生育状態に応じた栽培管理作業を考えておこなうことができるか。	
技能 表現	草花の特性と生育に応じた栽培管理作業を的確にできるか。	
知識 理解	草花の特性と栽培管理方法を理解しているか。	

教科(科目)	農業 (総合実習)	単位数	2単位	学年(学科・コース)	2年生環境緑地科 (環境土木コース)
使用教科書				授業形態	選択必修
副教材	土木実習1 (実教出版)				

1 科目目標

農業土木の各分野に関する体験的な学習を通して総合的な判断力や行動力、管理能力を養い、課題解決のための実践的な態度を習得する。

2 学習計画 *1単位は時間外総合実習とし、長期休業中(春・夏)に実施。

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	土木施工概論	・ 基本的な土木の技術と材料についての説明と実験方法について学ぶ。	24	実験・実習態度 農業意見文 校内農業鑑定 レポート提出 小テスト
5	水に関する学習	・ 水利(水利用)試験について学習する。水利試験では河川構造物・港湾構造物などの治水・利水に関係のある工事の計画、設計や施工について学習をする。		
6	校内農業鑑定			
7				
9	測量に関する学習	・ 夏期休業中に時間外総合実習で行う測量実習の結果についてまとめ、製図を行う。	26	実験・実習態度 校内農業鑑定 レポート提出 小テスト
10	コンクリートに関する学習	・ コンクリート製品や材料に関する学習を行う。その後、コンクリートの製造と各種強度試験を行いコンクリートの性質について学ぶ。		
11				
12	校内農業鑑定			
1	コンクリート材料に関する学習	・ 2学期に引き続きコンクリート材料(骨材)に関する各種試験と学習を行う。	20	実験・実習態度 レポート提出 小テスト
2	課題研究説明会	・ 今年度、学習したことを基礎に次年度の課題研究へつなげられるよう説明を行い、各自の専攻を決定する。		
3				

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	積極的に授業に参加し、主体的に学ぼうとする意志が現れているか、総合的に評価します。	授業態度・実習態度等 プリント・課題提出 実習ノート提出 農業鑑定 上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	自分のやるべきことを理解し行動できるかを総合的に評価します。	
技能表現	レポート提出を通し、自分の意見が的確に表現できるかを評価します。	
知識理解	校内農業鑑定や授業中の小テストを通して理解できているかを総合的に評価します。	

教科(科目)	農業 (総合実習)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	3年生物工学科バイオテク
使用教科書	なし			授業形態	必修
副教材	なし				

1 科目目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
4	植物の栽培と管理	野菜や草花の栽培管理を通じて、植物の生理、生態や栽培管理方法を理解する。	8	レポート提出	
5		農業高校生として必要な最低限の植物栽培技術の修得する。	8		
6	培養技術の利用	植物の栽培管理から培養植物栽培技術への応用をはかる。	8		
7		これまでの学習成果をもとに、希少植物や危惧種の培養に挑戦する。	8		
9	学習活動のまとめ	文化祭でコースの活動内容が紹介できるように活動内容をまとめる。	8		
10		パネル展示と実物展示の準備をおこなう。	8		
11	個人研究のまとめ	個人研究の成果を論文にまとめる。	10		課題提出
12					
1	発表会を実施する	個人研究の成果の発表をおこなう。	8		発表会実施
2	年間のまとめ	年間の学習の成果をレポートにまとめ自己評価をおこなう。	4		課題提出

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	バイオテクノロジーの知識を生かして実験や実習に積極的に取り組むことができる。	授業態度・実習態度等 プリント提出 ノート提出 定期考査等 上記を総合して100 点満点で評価する
思考判断	学習した内容に基づいて的確に実験実習や課題制作を進めることができる。	
技能表現	実験実習や課題制作の成果を工夫しまとめ、発表することができる。	
知識理解	これまでの学習内容を的確に実験実習や課題制作に生かすことができる。	

教科(科目)	農業 (総合実習)	単位数	2単位	学年(学科・コース)	生産技術科3年生野菜コース
使用教科書	野菜 実教			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

野菜の分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を修得させ、経営と管理についての理解を深めるとともに、管理能力や企画などの実践的な能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	キュウリ、メロン、トマト、ナス、スイカ、スイートコーン、エダマメ等、春から夏にかけて栽培する野菜の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耕耘、畦つくりの実践。 ・ マルチ、トンネルの特性を知りその実践。 ・ かん水の方法理解と実践。 ・ 肥料についての知識、施肥技術の習得。 ・ 収穫方法と調整について理解とその実践。 ・ は種方法とその実践。 ・ 野菜の種類による整枝方法とその実践。 ・ ホルモン処理の方法とその実践。 ・ 訪花昆虫の利用。 ・ 病害虫防除の理解と技術の実践。 	30	栽培実習・観察における態度、レポートを評価する。 授業への出席状況、態度や意欲について評価する。出席、授業・実習態度・レポート等により評価する。
8 9 10 11 12	春から夏にかけて栽培する野菜の管理 ダイコン、ハクサイ、ニンジンなど 夏から秋にかけて栽培する野菜の管理	同上	34	同上
1 2 3	オータムポエム、シュンギクなど 冬に栽培する野菜の管理 次年度栽培予定作物の育苗	<ul style="list-style-type: none"> ・ かん水の方法理解と実践。 ・ 肥料についての知識、施肥技術の習得。 ・ 収穫方法と調整について理解とその実践。 ・ 野菜の種類によるそれぞれの整枝方法とその実践。 ・ 病害虫防除の理解と技術の実践。 ・ 育苗技術の習得。 ・ 接ぎ木技術の習得。 	6	同上

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	作物栽培について興味・関心を持って学習できているか。	授業態度、レポート等 上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	観察結果などから栽培方法を的確に判断し、自ら行動できているか。	
技能表現	栽培実習において正しい技術が身につき、自ら実践できているか。	
知識理解	作物栽培とそれを取り巻く栽培環境について知識や理解が深められているか。	

教科(科目)	農業(総合実習)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	3年生産技術科 草花
使用教科書				授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

草花の分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めるとともに、管理能力や企画などの実践的な能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	・植え込み材料について	・草花栽培における土壌の性質を、用土づくりを体験させ、実践を通して理解させる。	6	出席状況、実習の取り組み、作業の正確さ、実習レポート内容等によって総合的に評価する。
5	・春花壇用苗販売	・春花壇用苗販売を通して、サルビア、ペゴニア、マリーゴールドの特徴を理解させる。	8	
6	・花壇の役割と種類について	・花壇に植栽することによって、デザインの技法やかん水、施肥などを体験させる。	8	
7	・草花の栄養繁殖方法について	・実際にさし芽、株分け、取り木を通して学習させる。	8	
8	・コンテナガーデンやハンキングバスケットの製作	・ガーデン装飾の技法と作り方と管理のポイントを理解させる。	6	
9			8	
10	・プリムラ類について	・プリムラ類に共通する性質と管理について理解させる。	8	
11	・シクラメンの管理、販売実習	・シクラメン管理、販売を通して、栽培管理、品質のよしあしを理解させる。	6	同上
12	・洋ランについて	・洋ランの栽培を通して、その特徴と栽培管理について理解させる。	6	
	・室内装飾について	・テラリウムやディッシュガーデンの作成により、室内装飾の技法とポイントを理解させる。	6	
1	・アレンジメントについて	・簡単なドライフラワーや押し花の作成を行い草花の利用と装飾方法を身につけさせる。	6	同上
2				
3				

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	身近な草花に関心を持ち、意欲的に授業に取り組むことができるか。	授業態度・実習態度等 プリント提出 ノート提出 定期考査等 上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	用土材料の判断や施肥方法など考えて行うことができるか。	
技能表現	播種・鉢上げ作業などの確にできるか。	
知識理解	草花の特性を理解し、的確に育て方を理解しているか。	